

2015年9月1日で

112歳

おばあちゃんの元気が  
少しでも皆様に  
伝われば幸いです

妙高市 赤倉温泉 出身  
東京都 墨田区 最高齢

# 後藤 はつの

## 絵画展



入場料 300円  
作品絵葉書5枚付

ご覧いただけない日程もございますので詳細はHPをご覧ください

日時

4月 ~ 12月上旬 期間限定展示

開催時間

午前9時 ~ 午後6時

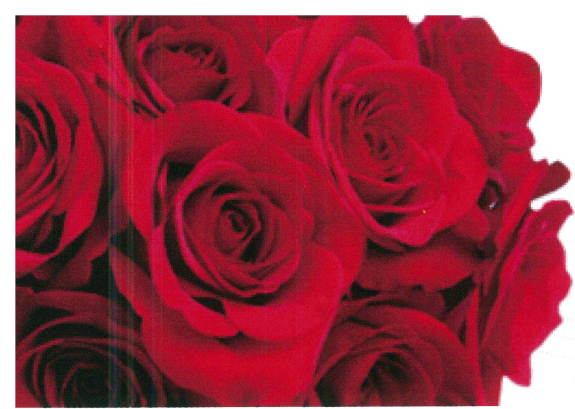
場所

はつのおばあちゃんの実家  
赤倉ワクイホテル

〒949-2111 新潟県妙高市赤倉28  
TEL 0255-87-3100

<http://www.akakura.gr.jp/wakui/>





# はつのおばあちゃんのプロフィール

はつのおばあちゃんは明治36年、新潟県妙高高原赤倉温泉・東風館(現 赤倉ワクイホテル)に生まれ、妙高山の麓の山里で少女時代を過ごしました。

当時東風館は旅館のかたわらお豆腐作りもしており、そのおぼろ豆腐を岡倉天心さんにもお届けしていたというエピソードも。そのとき天心さんからいただくお駄賃(お菓子)がうれしく、妹たちを連れて通ったそうです。(岡倉天心さんは、はつのおばあちゃんが11歳の時に赤倉温泉の別荘にて亡くなりました。) 8人兄弟の長女、妹6人、弟1人。東風館(現 赤倉ワクイホテル)の5代目は6番目の弟となります。

20歳で結婚。

絵を始めたのは73歳の時でした。

きっかけは長男の『年をとって何もしないとボケちゃうよ、絵でもやったら!』

という一言。それまでは絵を描いた経験もなく、最初は戸惑いながら近くにあった絵画教室に通い、絵の手ほどきを受けるうちに、描くことが楽しくなり、油絵に熱中するようになりました。しかし、一時は家族と一緒に海外へ赴くことになり、習い始めた絵も中断再び絵筆を握ったのは帰国後、80歳になってからでした。

はつのおばあちゃんが主に描くのは、ふるさとの懐かしい風景や凧揚げ、スキー、お祭り、柿もぎといった子供時代の思い出です。『絵を始めてからは、昔のことがいろいろ、それも鮮明によみがえってくる。今はそれが描きたくて仕方がない』とはつのおばあちゃんはいいます。カンパスの上に再現された思い出の数々は、細やかな描写と鮮やかな色づかいで、いずれも見事な出来栄です。

はつのおばあちゃんは年末の現代童画展に出品するために、毎年必ず100号の大作に挑戦してきました。カンパスに向かう はつのおばあちゃんは元気そのもの。

気分が乗ると、昼頃から夕方まで半日近くもほとんど立ちっぱなしで、絵を描くこともあったそうです。現在は東京にて息子さんと暮らしています。



112歳のお誕生日。2015年9月1日撮影



109歳 日野原先生と。



「111歳 いつでも今から」  
**好評発売中!**



毎年出向く、お気に入りのバラ園。



作品絵葉書、A4・A3サイズの作品等関連商品を売店にて販売しております。

絵画とエッセイ、日常スナップを収録